

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

県立恵那高等学校 事業実施報告書④

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び

II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成

III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築

IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成

V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 岐阜県 】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	①新聞文芸部 ②演劇部 ③美術部 ④放送部 ⑤音楽部
3 展開の形式	地域における活動 ①イベント名 （ 第22回岐阜県文楽・能大会 なかつ川2017 ） （ 2017いわむら城下おかげまつり ） （ 第22回岐阜県民文化祭・ぎふ文化の祭典ひだ・みの創作オペラ「秋祭り 西忍池」 ） （ 熊本地震被災地支援チャリティーコンサート「愛を贈る〜ムジケエイド 熊本支援チャリティーコンサート」 ） ②その他（ 中学校訪問 ） （ 恵那市主催コンサート「中高生のための音楽の集い」 ）
4 目標 (ねらい)	・地域・郷土の伝統文化に直接触れる機会を数多くもつことで、その良さを実感するとともに、長きにわたり継承されてきた文化を誇りと思える心を育てる。 ・地域・郷土の伝統文化に興味・関心をもち、他者との交流やコミュニケーションをとる中で、その魅力を広く発信していく力を付ける。 ・地域・郷土の伝統行事に自主的・自発的に参加し、地域の活性化に寄与する人材の育成を図る。
5 取組内容	①未来におくる宝物―郷土の芸能、心と技 第22回岐阜県文楽・能大会 なかつ川2017への協力 ○新聞文芸部生徒による文楽の訳出（台本の現代語訳）    * 11月3日に中津川市で行われた文楽の岐阜県大会開催にあたり、中津川市文化スポーツ部文化振興課からの提案もあり、より文楽を身近に感じてもらおうと、上演4演目の台本を現代語訳した。当日も新聞文芸部生徒が参加し、文楽を堪能したり、舞台上で訳出時の苦労話等のインタビューを受けたりした。

②2017いわむら城下おかげまつりへの協力

○国の重要伝統的建造物群保存地域で開催されたイベントでの演劇部生徒による時代劇「女城主」の上演



* 11月5日に恵那市岩村町で行われた市や住民の有志で創るイベントに参加した。脚本・演出・キャスト・衣装等、全て本校演劇部生徒・職員が手掛けたオリジナルの創作劇で、午前・午後の2回上演した。

③第22回岐阜県民文化祭・ぎふ文化の祭典ひだ・みの創作オペラ「秋祭り 西忍池」への協力

○美術部生徒による公演ポスター制作や演劇部生徒の出演、放送部生徒の場内放送や生徒会役員等の運営補助



▲神谷さんの題字と、木村さんの原画による公演ポスター

公演を支える高校生の活躍

市内にある3つの高等学校の生徒が、サポートスタッフとして公演に協力しています。授業や部活動で身につけた技能や特技を、発揮しています。

恵那高等学校

ポスターの製作で、神谷祐未さんが題字を、木村莉彩さんが原画を作りました。放送部の田口瑠莉さんと田口鮎乃さんは、公演当日の場内放送を担当します。

生徒会役員と女子バスケットボール部の皆さんは、運営補助を担います。



▲ポスター製作の神谷さん(左)と木村さん(右)



▲放送部の田口瑠莉さん(左)と田口鮎乃さん(右)

* 2月11日に恵那市で行われた創作オペラへの出演やサポートスタッフとして協力した。

- 1.美術部の生徒がポスターの題字と原画を作成
- 2.演劇部の生徒がキャスト(子役)を担当
- 3.放送部の生徒が公演当日の場内放送を担当
- 4.生徒会役員とバスケットボール部の生徒が運営補助

④熊本地震被災地支援チャリティーコンサート「愛を贈る〜ムジケエイド 熊本支援チャリティーコンサート」他

○音楽部生徒による演奏や放送部生徒による司会進行

*6月25日に恵那市で行われたチャリティーコンサートでの演奏や中学校訪問における合同演奏、11月23日に恵那市で行われた市主催のコンサートイベントでの演奏や司会進行など協力した。



	1.音楽部生徒がチャリティーコンサートで演奏出演 2.音楽部生徒が毎年開催している中学校訪問で合同演奏 3.音楽部生徒がコンサートイベントで演奏出演 4.放送部生徒がコンサートイベントで司会進行を担当
6 主な成果	・様々な伝統行事に参加し地域の伝統文化に触れることで、伝統文化そのものの魅力を実感することができた。 ・地域の方々との協働がきっかけとなり、地域社会や伝統文化をより身近な存在としてとらえることができた。地域の一員としての自覚が生徒に芽生え、地域・郷土の活性化に少しでも貢献したいという意欲につながった。 ・自分たちが普段学校で取り組んでいることが、社会で通用するとともに、地域の伝統文化にも役立つ知識であることを知ることができ、生徒はやりがいを感じた。その影響が日々の学習活動にも活かされている。 ・オリンピック・パラリンピックを契機に、多くの外国人が恵那にお越しになった時、恵那の魅力を伝える自信につながった。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	・各団体や自治体からイベント等の参加について率先して声を掛けていただけるように、日頃よりボランティア活動や積極的なPR活動を行った。
8主な課題等	・伝統行事等を経験した生徒が学び得た情報を、県外や海外からの訪問者に発信できると、おもてなしの心を備えたボランティアの育成につなげられるのではないかな。 ・今回のように伝統行事等に生徒が参加するだけでなく、参画（企画運営）にも携わることができれば、地域の一体感や地域・郷土の伝統文化の魅力をより深く味わうことができる。今後は、生徒の声を拾いあげ、学びや活躍の機会を受動的にではなく、主体的に創出していく必要がある。
9来年度以降 の実施予定	・様々な事業に意欲的に参加していきたい。伝統文化を継承・発展させる地域の担い手として、地域・郷土の魅力を幅広く発信していく存在となれるような新たな取り組みを模索し、参画・実践していきたい。